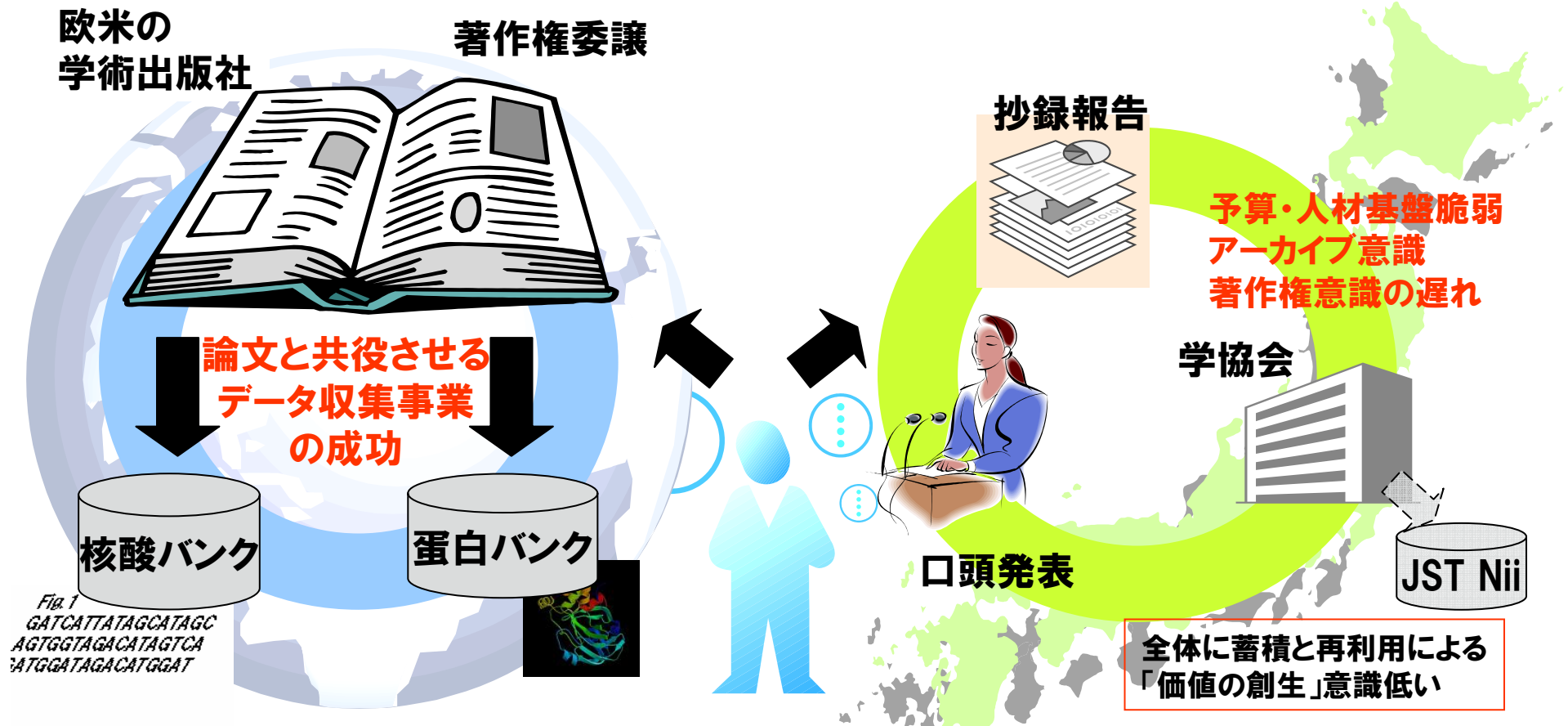


自己動機付けで駆出される情報

「論文＝業績」による動機付け

帰属意識による動機付け



日本の研究情報が国内に蓄積する仕組み脆弱
日本人の書いたものは雲散霧消してゆく

国の委託により生産される情報 プロジェクトデータとコンソーシアムの利用

プロジェクト名称	資金	終了時期	公開までの猶予期間	コンソーシアム設立理由	参加数
トキシコゲノミクス (厚労)	官民	07/3	終了後3年	会員企業による創薬応用を優先	製薬15社
疾患関連タンパク質 解析研究(厚労)	官民	08/3	終了後3年	会員企業による創薬応用を優先	製薬20社
ヒト完全長cDNA 構造解析(経産)	官 (一部民間)	02/3	開示後3~6ヶ月 (公開延期分含め終了後2年で公開完)	ヒト完全長cDNA配列情報の特許化	40数機関
タンパク質機能 解析(経産)	官	06/3	終了後1.5年を目途に公開予定	遺伝子の権利化、産業応用	10数社
ゲノムネットワーク (文科)	官	09/3	原則開示後6ヶ月 (公開延期可能)	研究及びその成果による知的財産権の獲得	34グループ

国家プロ成果→「受託主体・日本国民・世界市民」間の受益バランスに課題

- 個人団体に帰属すべき独創による成果と公に帰属すべき業務遂行結果の区別要明確化
- コンソーシアム開示までのデータ保持期間の透明性と厳格化要確保
- 産業化優先データ非公開プロジェクトの取り扱い要原則化
- まず自身 について評価者たる欧米 に情報提示してはいないか？

文部省学術用語集の利用便宜

発行年	学術用語集	ページ	定価	検索	ダウンロード	著作権者	編集	発行者
昭和47年	キリスト教学編	280	1,738	●	×	文部科学省	学術研究助成課	日本学術振興会
昭和53年	原子力工学編	282	1,699	●	×	文部科学省	学術研究助成課	日本原子力学会
昭和56年	地理学編	152	1,602	●	×	文部科学省	学術研究助成課	日本学術振興会
昭和56年	海洋学編	220	1,874	●	×	文部科学省	学術研究助成課	日本学術振興会
昭和58年	地学編	446	3,515	●	×	文部科学省	学術研究助成課	日本学術振興会
昭和60年	機械工学編（増訂版）	816	3,000	×	×	文部科学省	学術研究助成課	日本機械学会
昭和61年	化学編（増訂2版）	704	1,602	×	×	文部科学省、日本化学会	学術研究助成課	南江堂
昭和61年	心理学編	426	2,117	●	×	文部科学省、日本心理学会	学術研究助成課	日本学術振興会
昭和61年	農学編	982	4,204	×	×	文部科学省、日本造園学会	学術研究助成課	日本学術振興会
昭和62年	気象学編（増訂版）	276	1,505	●	×	文部科学省、日本気象学会	学術研究助成課	日本学術振興会
昭和63年	動物学編（増訂版）	1,146	3,282	●	×	文部科学省、日本動物学会	学術研究助成課	丸善
平成02年	建築学編（増訂版）	668	2,379	●	×	文部科学省、日本建築学会	学術研究助成課	日本建築学会
平成02年	物理学編（増訂版）	680	2,400	●	×	文部科学省、日本物理学会	学術研究助成課	培風館
平成02年	植物学編（増訂版）	706	2,699	×	×	文部科学省、日本植物学会	学術研究助成課	丸善
平成03年	土木工学編（増訂版）	956	3,660	●	×	文部科学省、土木学会	学術研究助成課	土木学会
平成03年	電気工学編（増訂2版）	1,120	4,320	×	×	文部科学省、電気学会	学術研究助成課	電気学会、コロナ社
平成04年	歯学編（増訂版）	1,026	3,981	×	×	文部科学省、日本歯学会	学術研究助成課	日本歯科医学会
平成05年	遺伝学編（増訂版）	668	2,893	●	×	文部科学省、日本遺伝学会	学術研究助成課	丸善
平成06年	天文学編（増訂版）	352	3,204	●	×	文部科学省、日本天文学会	学術研究助成課	日本学術振興会
平成09年	図書館情報学編	184	2,262	●	×	文部科学省、日本図書館学会	学術研究助成課	丸善
平成09年	計測工学編（増訂版）	642	3,900	●	×	文部科学省	学術研究助成課	計測自動制御学会
平成09年	言語学編	450	4,200	●	×	文部科学省、日本言語学会、日本英語学会	学術研究助成課	日本学術振興会
平成11年	分光学編（増訂版）	800	2,800	●	×	文部科学省、日本分光学会	学術研究助成課	培風館
平成12年	地震学編（増訂版）	336	2,200	●	×	文部科学省	学術研究助成課	日本学術振興会
平成12年	薬学編	832	6,257	×	×	文部科学省、日本薬学会	学術研究助成課	丸善
平成15年	医学編	1,116	4,200	×	×	文部科学省、日本医学会	学術研究助成課	日本学術振興会

公開で失われる価値と生まれる価値のバランスは

ライフサイエンス

DB統合への3課題

行政の課題

推進すべき(新)課題

個別分野の課題

1. 既存情報の死蔵・散逸の防止

意識の改革（個人・学協会・行政）

制度の改革（国家プロジェクト・著作権・申請書）

情報公開にまつわる小さな不都合vs統合利用での新たな価値の創生

2. オープンな電子情報を前提とする技術の開発・普及

統合索引用の辞書、整理技術、知識表現技術開発

索引付け(インデクシング、アノテーション)と構造化

“相互運用性”と“透明性(商用検索に公開)”の両面

3. 応用を意識した世界のモデル化推進(人体モデル、人口モデル等)